

2020年7月期 第1四半期 決算補足説明資料

2019年12月12日

VALUENEX株式会社

東証マザーズ：証券コード4422

The VALUENEX logo is positioned in the bottom right corner of the page. It consists of the word "VALUENEX" in a bold, white, sans-serif font. The background of the entire page is a dark blue gradient with a complex, abstract pattern of concentric circles and dots, resembling a topographic map or a data visualization. The text is white, providing high contrast against the dark background.

項目

1

2020年7月期第1四半期業績報告

2

事業概要

決算ハイライト

1	<p>売上は前年を若干上回ったが、費用増により増収減益。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 売上高 : 92百万円 (前年比 + 1.3% 増) 営業利益 : ▲92百万円 (前年比▲48百万円) 経常利益 : ▲92百万円 (前年比▲34 百万円) 最終利益 : ▲88百万円 (前年比▲30百万円)
2	<p>コンサルティング売上は前年を下回ったが、ASP売上は伸長。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティング : 米国において前年を下回ったことにより、全体でも前年を下回る。 ASP : 日本において順調に積み上がり前年同期比プラス。
3	<p>主に営業強化のため 7 名採用及びオフィス増床等により販管費は増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 販管費 : 163百万円 (前年比 + 36.6% 増) <p>→ 人員増による人件費の増加、オフィス増床による地代家賃、消耗品費等の増加</p>

2020年7月期第1四半期 連結業績概要

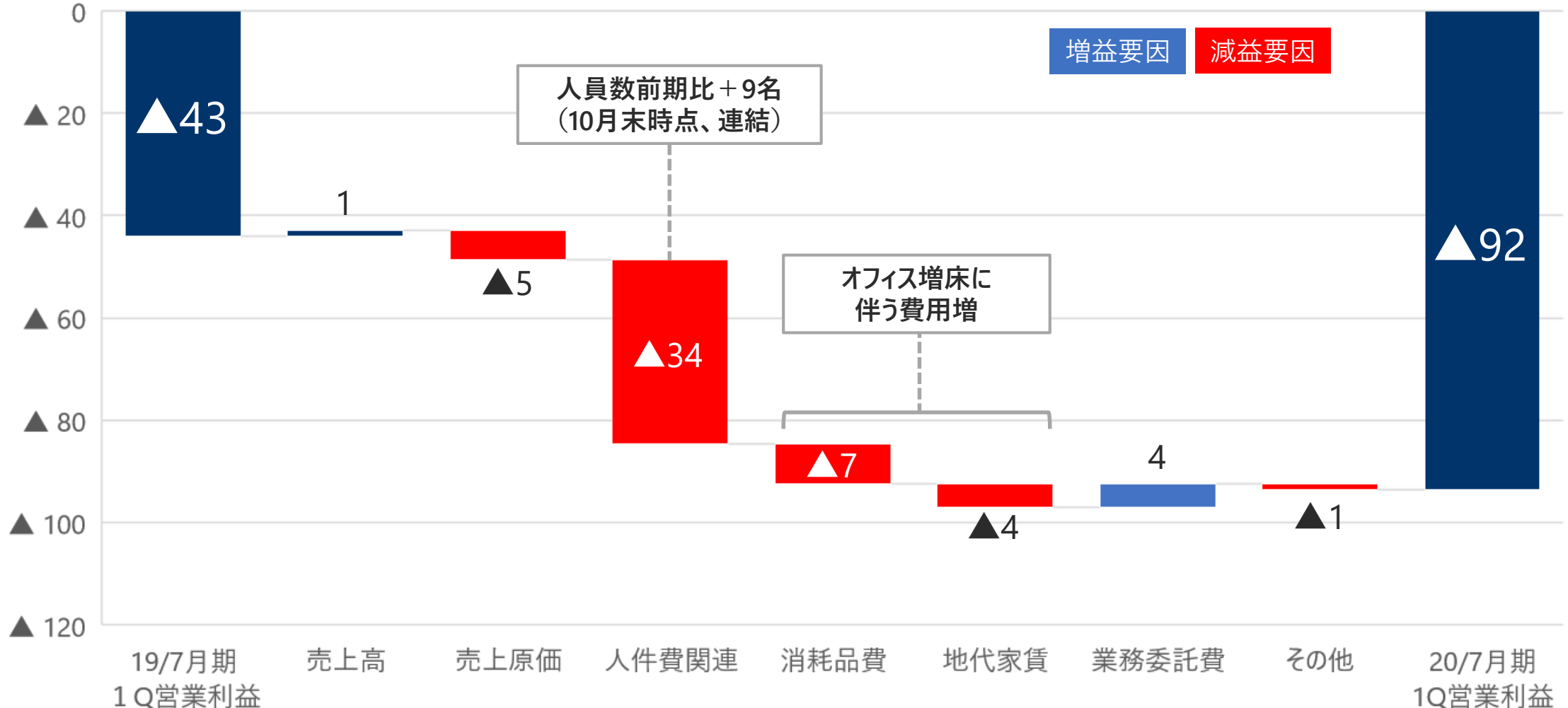
売上はほぼ前年並みであったが、販管費が大きく増加したため減益

(単位：百万円)	19/7月期 1Q実績	20/7月期 1Q実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	91	92	1	1.3%
売上総利益	75	71	▲ 4	▲ 6.1%
販管費	119	163	43	36.6%
営業利益	▲ 43	▲ 92	▲ 48	-
経常利益	▲ 58	▲ 92	▲ 34	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 58	▲ 88	▲ 30	-

連結営業利益増減要因 ～対前年同期比～

人件費及びオフィス増床に伴う費用増により、営業利益は前年同期を下回る

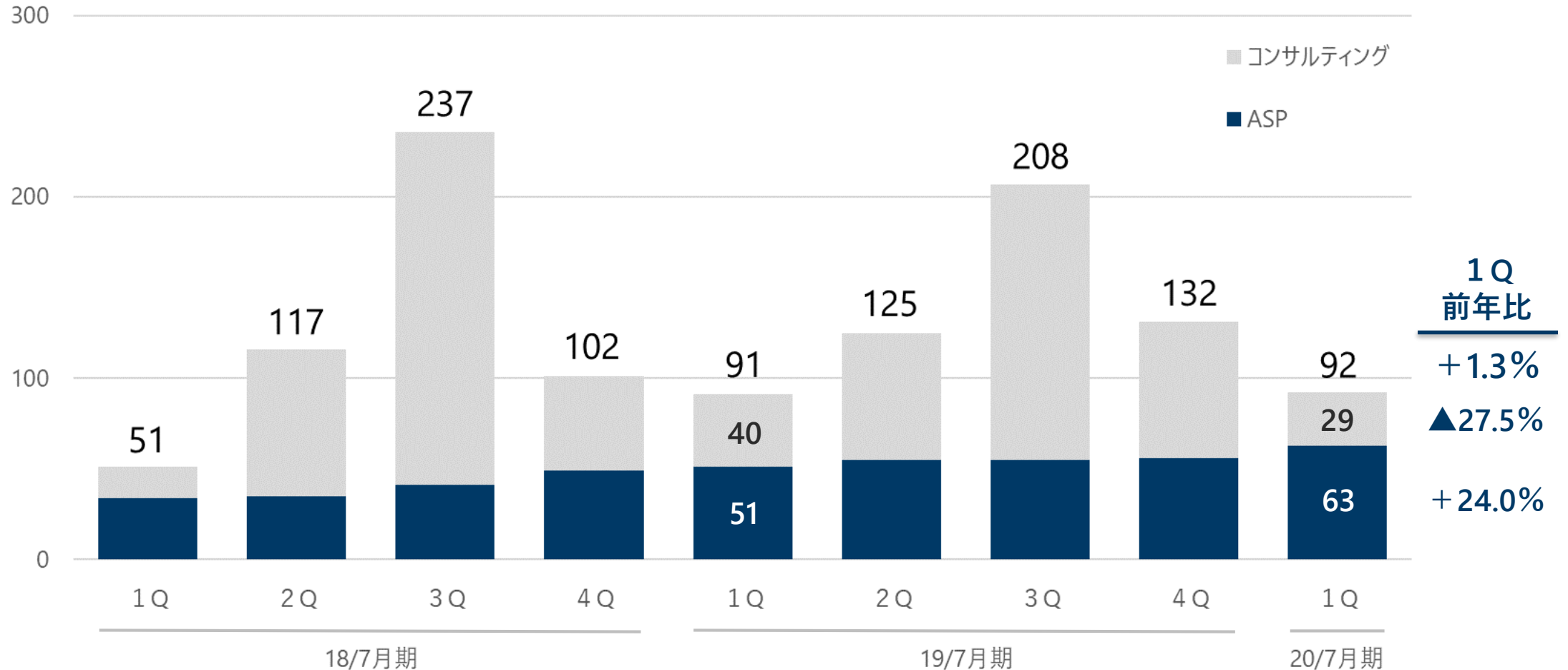
(単位：百万円)



連結売上高の推移（サービス別）

コンサルティングは前年同期比でマイナスとなったが、ASPは順調に積み上がり前年同期比プラスとなった。

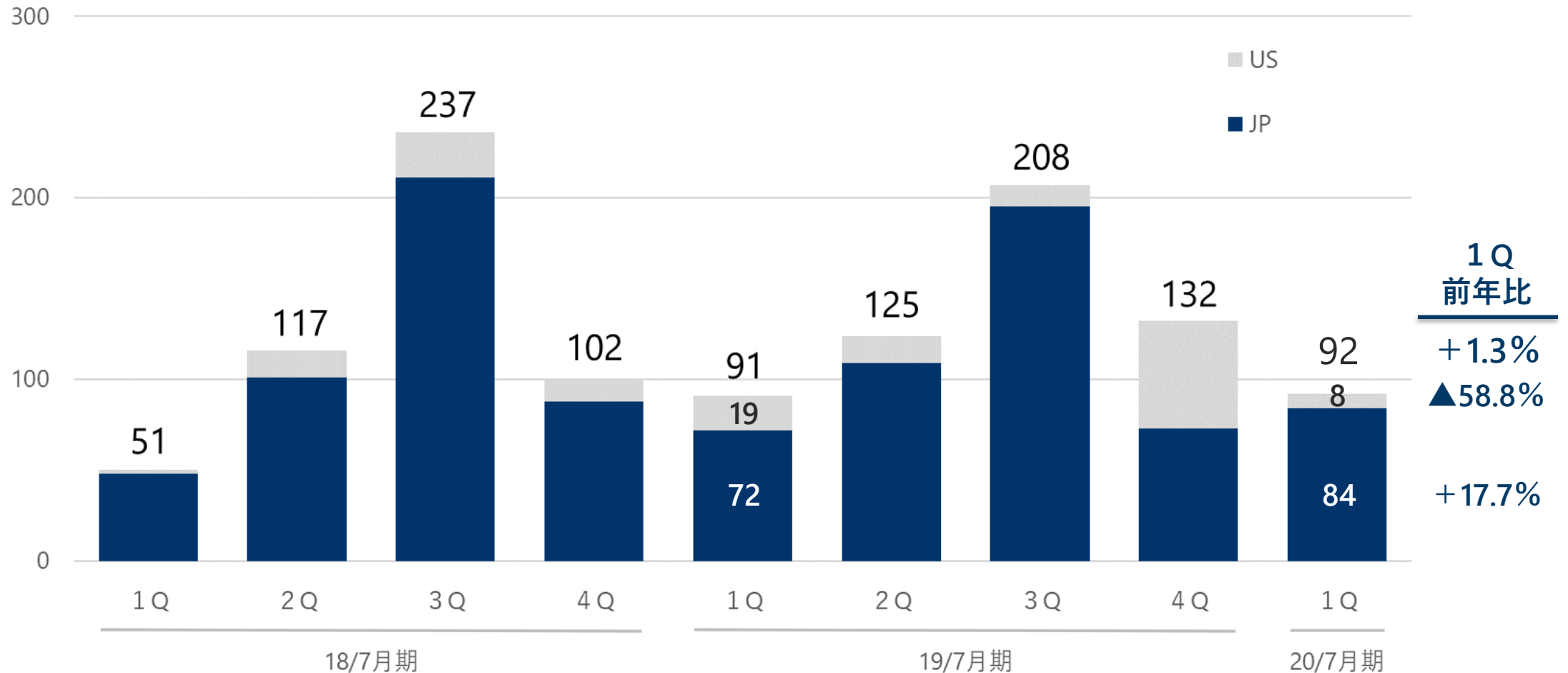
(単位：百万円)



サービス別売上高の推移（地域別）

米国は前年同期比でマイナスとなったが、国内は前年同期比 + 17.7%となった。

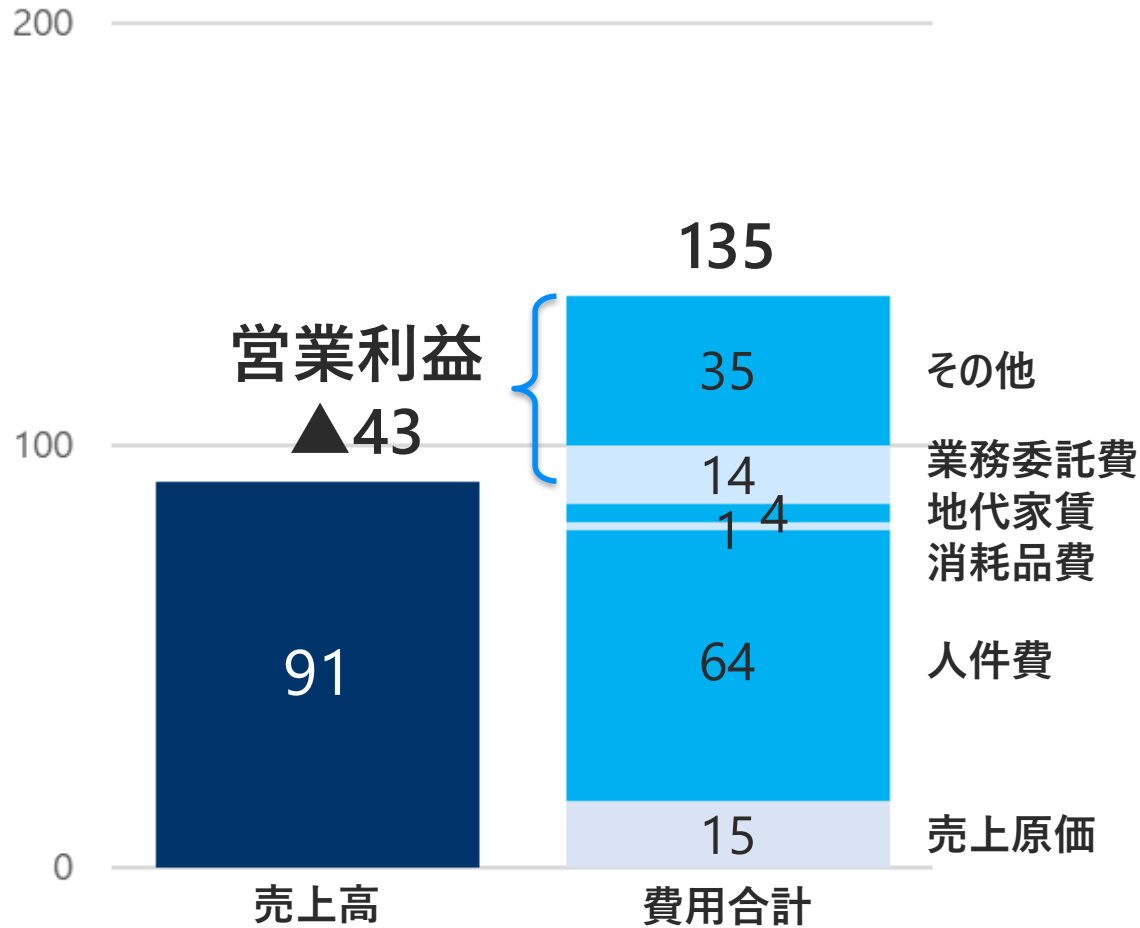
(単位：百万円)



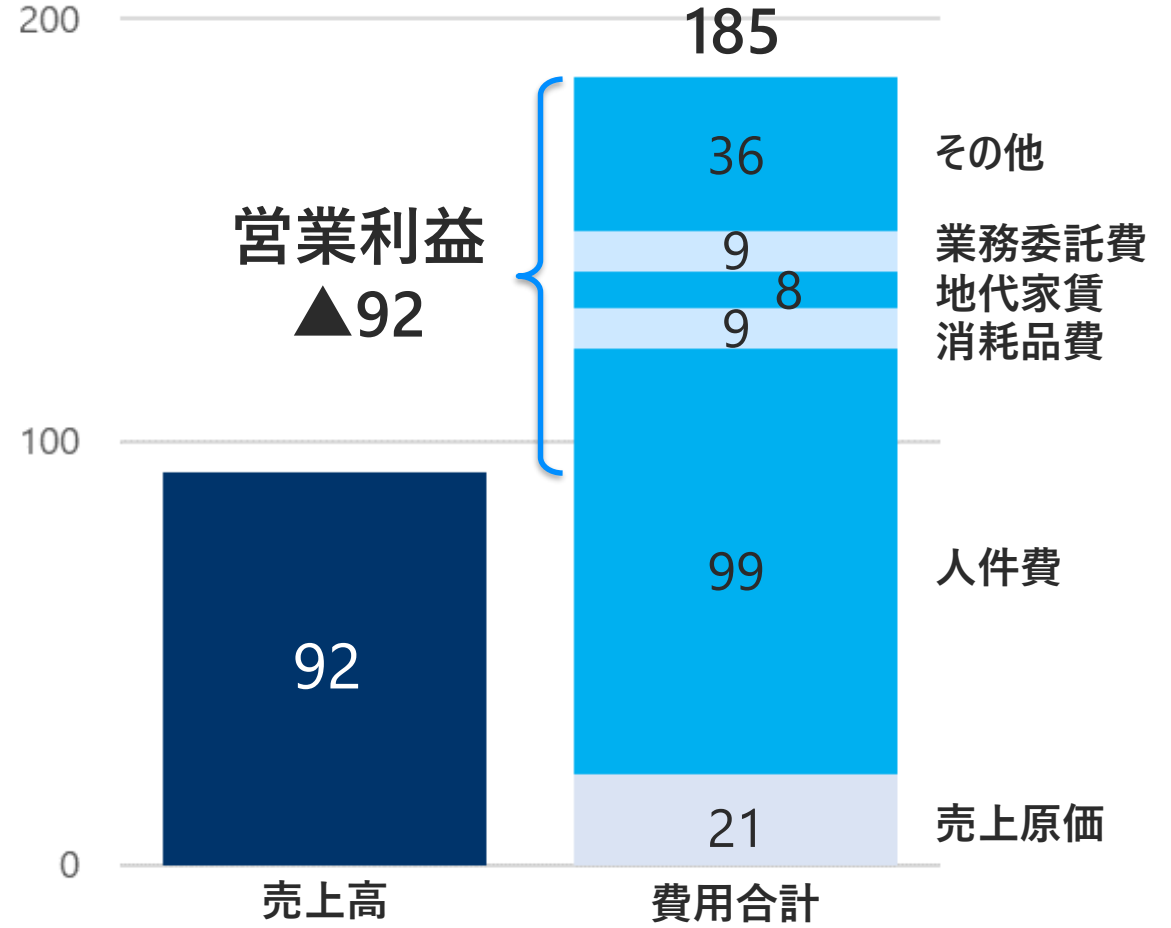
連結営業費用の内訳

人件費の増加：10月末人員数前年比+9名（2019年10月末 30名）によるもの。
 消耗品費・地代家賃の増加：オフィス増床に伴うもの。

(単位：百万円)



19/7月期 1Q実績



20/7月期 1Q実績

VALUENEX, Inc. (米国) 第1四半期活動状況

営業活動	<ul style="list-style-type: none"> • 政府機関からコンサル契約を受注 • ニュース、商品レビューなどの新しいデータベースを用いた解析をイノベーション部門、マーケティング部門への事業展開中 • 中国語解析機能を活かした新しいサービスで事業展開中 • シリコンバレーのコーポレートベンチャーキャピタルを中心にパイプラインを強化 • 日本、米国、欧州など世界中のコラボレーターを通じてリードを拡大
マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> • IP Week (2019年8月26日-28日、シンガポール) <ul style="list-style-type: none"> ➢ シンガポールで開かれたIP Weekという知財イベントに参加し、アジアの顧客を開拓すると共に、シンガポールにある投資ファンドとファイナンス分野について協議。 • IPBC Asia (2019年10月28日-30日、東京) <ul style="list-style-type: none"> ➢ 東京でIPBC Asiaが開かれ、スポンサーとして参加。欧州の大手企業の知財部長、シンガポールの顧客をゲストとして招いて、今後のビジネスを協議をする一方、その他の大企業のリードを獲得。
採用	<ul style="list-style-type: none"> • 営業1名、エンジニア1名、リサーチアナリスト1名、インターン2-3名採用を計画中 • スタンフォード大学のキャリアプラットフォームを利用し、リクルーティング活動中
開発	<ul style="list-style-type: none"> • ニュース、商品レビューなどの新しいデータベースとの連携による新しいサービスを開発中

項目

1

2020年7月期第 1 四半期業績報告

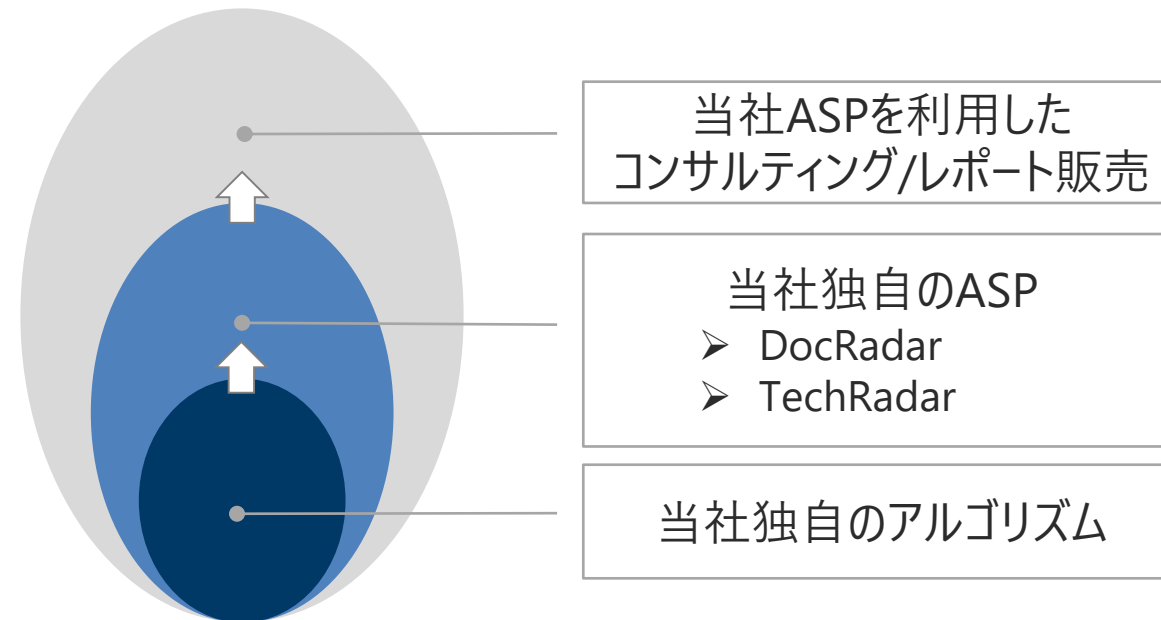
2

事業概要

当社のアルゴリズム事業について

当社独自のアルゴリズム^{注1}は大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化するものであり、2つの販売形態を展開しております。

- 1) 当該アルゴリズムに基づくASP^{注2}
- 2) 本ASPを活用したコンサルティング / レポート販売



当社のアルゴリズム事業は、予測分析(プレディクティブ・アナリティクス)^{注3}に応用可能なアルゴリズムであることを最大の特徴としております。

注1：アルゴリズムとは、問題解決のための具体的手順のことです。

注2：ASP（Application Service Provider）とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しています。

注3：経験的証拠からの学習により、個人/企業/政府などの行動を予測し、より良い意思決定を導く技術を意味しています。

サービスコンセプト：俯瞰解析

大量の文書データ間の関係性を独自のアルゴリズムにより計算・可視化し、意思決定・戦略構築のご支援をします。



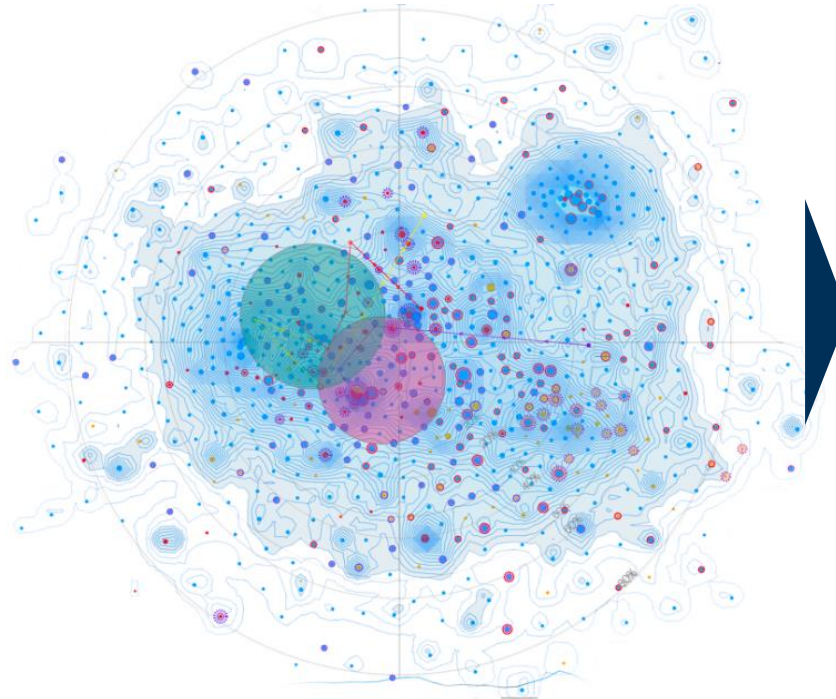
特許、論文、SNS、記事、
 アニュアルレポート 等



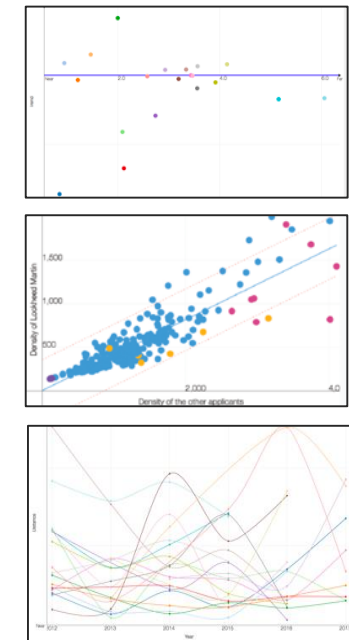
文書間の類似性に
 基づいたクラスタリング



クラスタ同士の類似性に
 基づいた可視化



様々な指標による
 定量的な解析

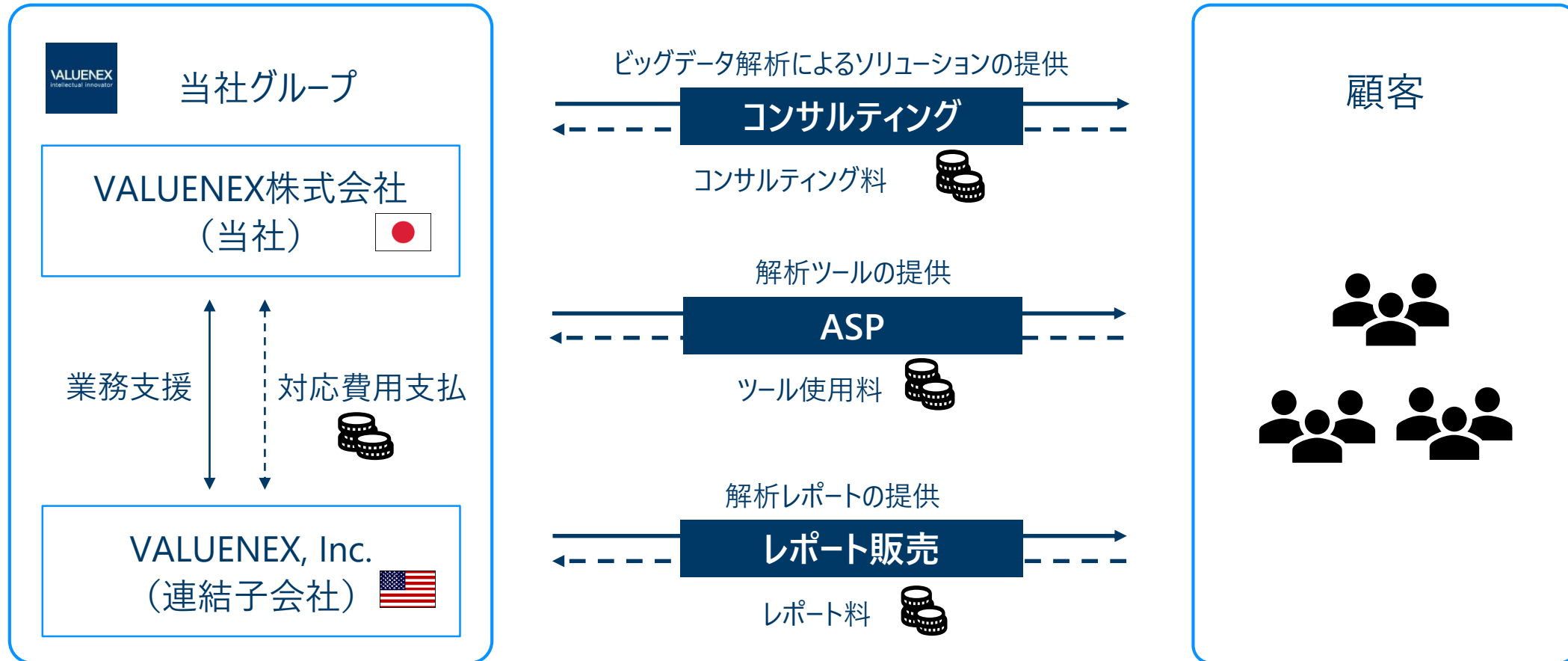


主要サービス概要

サービス分類		概要	主要対象顧客	対象文献	データベース
コンサルティング		顧客の課題に応じた調査・解析及びコンサルティングを当社が実施	調査/解析する時間・人材がない、もしくは結果だけが欲しいといった方が対象	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特許、論文 ✓ 新聞記事 ✓ SNS、アンケート、クチコミなど 	付属せず
レポート販売		当社が独自に調査・解析を行い、簡易レポートを提供			
ASP	DocRadar	最大10万件までの様々な文書データを可視化・解析	特許以外にも、学術論文、クチコミ情報、アンケートデータ、商品紹介等の多様な文章データを俯瞰解析したい方が対象	特許	付属
	Tech Radar	Scope	最大1,000件まで特許を高速可視化		
		Vision	最大10万件までの特許を可視化・解析	業界・技術分野や企業の研究開発領域を俯瞰解析したい方が対象	

事業モデル

当社独自の解析ツールの提供、俯瞰解析から予測分析・戦略活用までのコンサルティング／レポート販売しています。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社
事業内容	アルゴリズム事業
設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号
資本金	528百万円（2019年10月31日現在）
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国
従業員数	27名（単体、2019年10月31日時点） ※役員除く
役員	<p>中村 達生 : 代表取締役 社長執行役員 CEO /博士（工学）</p> <p>鮫島 正明 : 取締役 上席執行役員 CFO /MBA</p> <p>本多 克也 : 取締役 執行役員 研究開発本部長/博士（工学）</p> <p>片桐 広貴 : 取締役 執行役員 ソリューション事業推進本部長/工学修士</p> <p>Sam KOVACH : 取締役 上席執行役員 CINO 海外事業推進室長</p> <p>鈴木 理晶 : 社外取締役/弁護士</p> <p>松田 均 : 社外常勤監査役/公認内部監査人</p> <p>花堂 靖仁 : 社外監査役/ 大学名誉教授</p> <p>宮内 宏 : 社外監査役/弁護士</p>

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

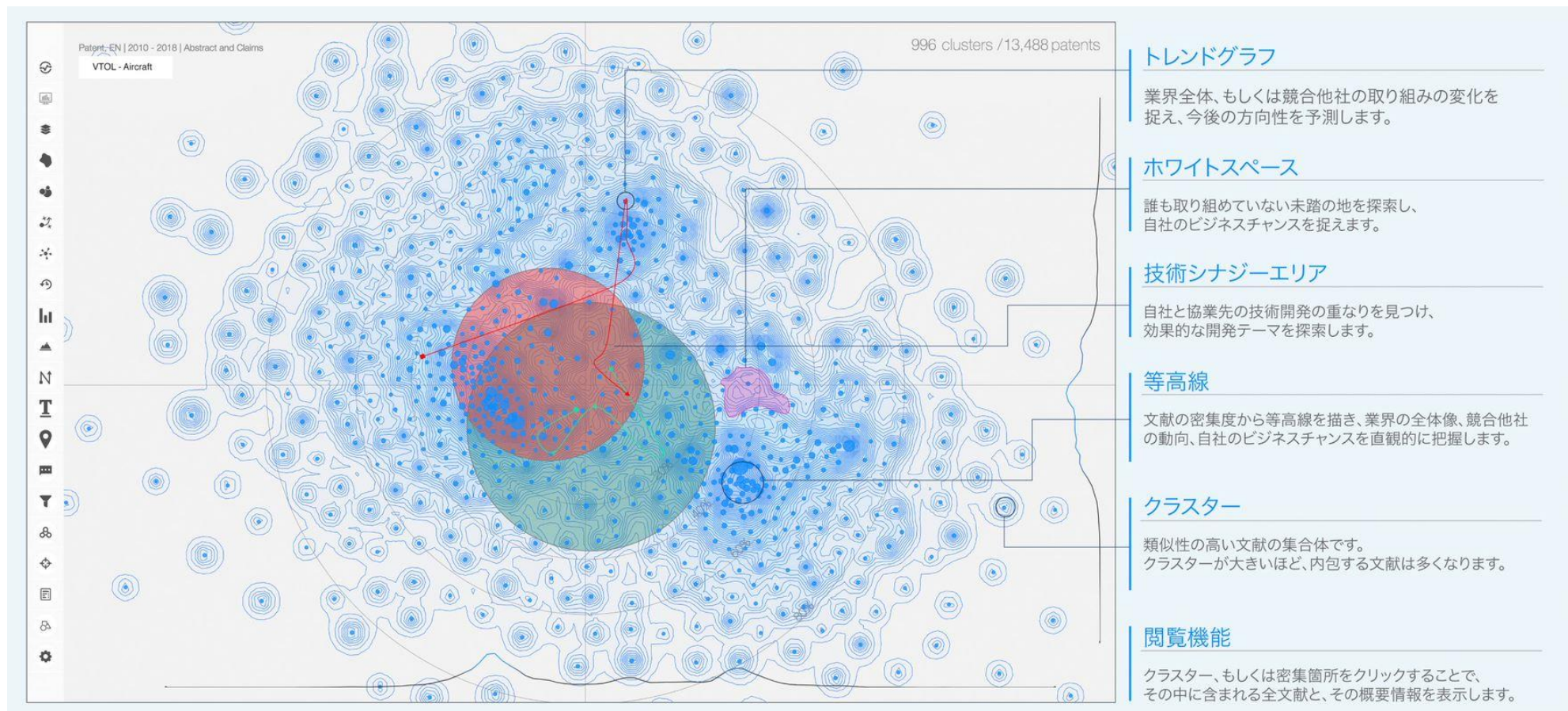
Vision

- 我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です
- 我々は、世界に認知される企業を目指します
- 我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します
- 我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します

当社ASPの検索・可視化イメージ

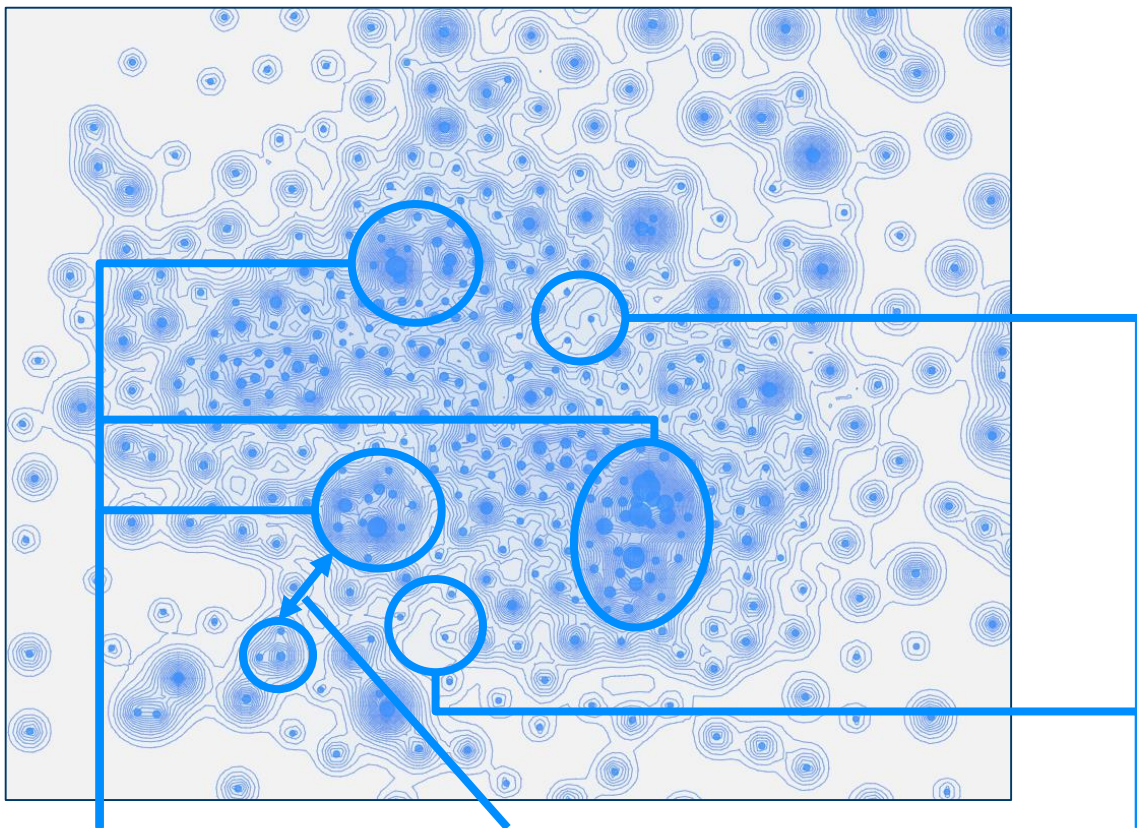
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

● ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

□ ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

クラスタ間の距離が近い

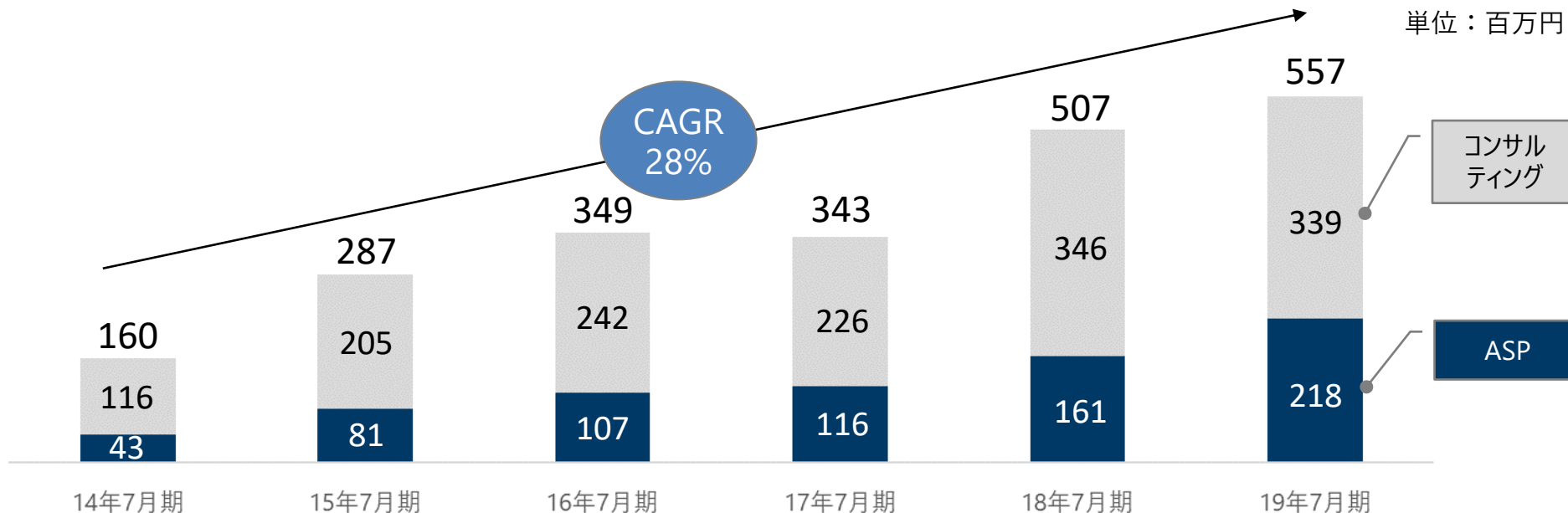
= 内容の関連性が高い

ホワイトスペース

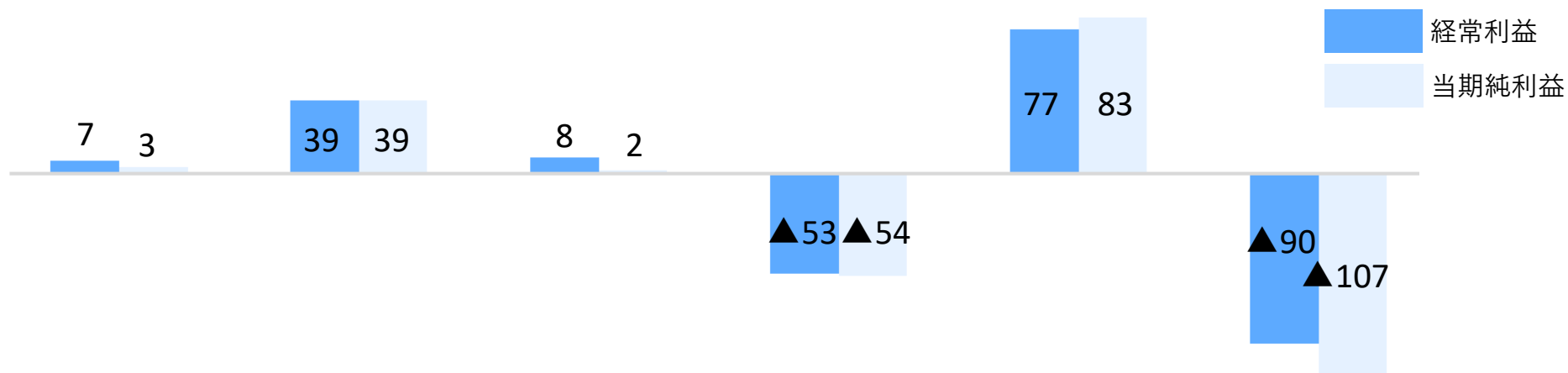
業績推移

単位：百万円

売上高^注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。